

三條別院のご案内

三條別院に想う

陽射しが肌を刺す季節となりましたが、別院に想いをお寄せいただいている皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

去る五月二十八日、真宗本廟での宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌法要も終わり、宗祖の顕かにされた本願念仏のみ教えに「ご縁をいただくものとしての新たな歩みが始まりました。しかしその歩みは、御遠忌法要を目前にした三月十一日に発生した「東日本大震災」への関わりをぬきには考えられないことを思います。リアルタイムで報道される被災状況を目の当たりにして言葉を失ってしまいました。多くの尊いいのちが奪われ、発生後四ヶ月が経とうとする今日に至っても生活の目処さえ立たない厳しい状況にあります。ことに福島原子力発電所の事故による放射能汚染にいたっては、沈静化どころか、汚染物質や汚染地域への対応がどうなるのか見通しさえ立たない状況にあります。混乱する報道に接するなかで、福島から別院に避難しておられた方々をはじめ被災地の方々の苦悩はいかばかりかとの思いを深くするばかりです。このような状況にあつて、改めて別院の果たす

べき役割とは何かということを考えさせられています。『蓮如上人御一代聞書』に越中五箇山の赤尾の道宗という念仏者の言葉が記されています。「一日のたしなみには、あさつとめにかかさじと、たしなめ。一月のたしなみには、ちかきところ、御開山様の御座候ところへまいるべしと、たしなむべし。一年のたしなみには、御本寺へまいるべしと、たしなむべし」と。道宗さんが「ちかきところ」と言われるようなお同行の願いが全国各地に別院を建立させたに違いありません。

そのお同行の願いは、本願念仏の教えに、日々の暮らしの中での悩み苦しみから目を逸らし目先の満足に生きようとする我が身が照らされることよって現実を引き受け、賜ったいのちを精一杯生きることでできる道を共に確かめる場、すなわち聞法の道場としての別院であったと思います。そのような場たらしめる歩みをしているかとお朝事を勤めながら自らに問う毎日です。

「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろずのこと、みなもつて、それごとたわごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします」

(三條別院 輪番 鷺尾 幸雄)

〇次回の「三條別院に想う」は、

桑田 正栄 氏(第十組 西方寺)より

「執筆いただきます」

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【七月二十八日(木)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讚 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

藤井 信彰 氏(第十四組 長榮寺)

◇今後の講師一覧

- | | |
|-----|--------------------|
| 八月 | 村山 まみ氏(真宗学院第一期卒業生) |
| 九月 | 井上 知法氏(第十三組 願性寺) |
| 十月 | 草間 朋哉氏(第十二組 勝覺寺) |
| 十一月 | 竹内 淳一氏(三条教務所 主事) |
| 十二月 | 関根 正隆氏(第二組 長徳寺) |

■定例法話会の「案内」

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、「この「両度の命日」についてお書きになられています。」(四帖目十二通)

三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。皆様、お気軽にお越しください。

◇日 時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より(約一時間程度)

◇場 所 三条別院 旧御堂
◇御講師

七月 荒瀬原 有之氏(第十五組 蓮照寺)
九月 溝口 敏隆氏(第十五組 覺満寺)
※十月以降の講師につきましては、後日「案内」させていただきます。

■朝の人生講座・夏の御文拝読

本年も左記のとおり朝の人生講座・夏の御文を開催いたします。

清々しい朝のひと時を仏法に触れながら三条別院で過ごしてみませんか。

◎人生講座終了後、簡単な朝食をお配りいたします。

◇日 時 八月十九日(金)～二十一日(月)
午前六時 晨朝 夏の御文拝読
午前六時三十分 人生講座

◇場 所 三条別院本堂

◇御講師

十九日 窪 智至氏(第二十組 常明寺)

「家の常識は世間の非常識」

二十日 安原 陽二氏(第十二組 安浄寺)

「皆、仏になりたいと願っている」

二十一日 藤波 龍英氏(第十八組 西入寺)
「蛙の鳴く音も鐘の音も」

二十二日 安富 信哉氏(大谷大学教授)
「帰依三宝」

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が動まりますので、お参りいただけますようお願い致します。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、「要望等」ございましたら「相談承ります」。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円
・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円
・昼食代 一、〇〇〇円程度
・夕食代 一、三〇〇円程度

■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各「門徒」のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

「ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院御影巡回がより多くの方々のお念仏をいただける場となる」ご縁となりますことを、願っております。

※曜日・時間等は昼夜問わず、皆様のお仕事の後など「相談させていただきます」。

